

# ハイライトよねやま

2000年11月13日発行

## 1. 10月の米山月間に招かれた宮崎事務局長のレポートから

### クラブ訪問

今年もクラブ訪問をし、米山奨学事業について卓話をする機会が与えられました。率直な感想は、まだまだ米山奨学金に対するロータリアンの理解が十分ではありません。特に寄付金の種類、寄付の方法、表彰制度、そして寄付金がどのように使われているかについてのPR不足を感じました。ロータリアンの関心の中心は、「われわれの支援がどのように役立っているのか」「過去に奨学金を受けた奨学生（学友）は今、どのように活躍しているのか」また、「米山奨学事業の目的・意義はなにか」などでありました。そして、驚いたことに、多くのロータリアンが卓話を聞いて初めて米山梅吉翁とロータリー奉仕の精神を知ったと言うのです。それにつけてもガバナーの影響力の大きさ、重要性をあらためて知らされました。

### 秋の地区大会

最近の地区大会プログラムに、米山奨学生と財団奨学生が登場する場面が多くなってきました。

特に、パネルディスカッションでの奨学生の率直な意見、異国での体験談に胸が熱くなる思いをします。それは決して、苦学、孤独の留学生活にどのように耐えたかといった美談だけでなく、質素な生活のなかで、地道に暮らし、高く思う「研究者の姿勢と哲学」に触れることができるからです。私たちが近代化を急ぐあまり、置き去りにした日本の伝統・習慣、親への孝行、家族への思い、他人への心遣いなどをあらためて思い起こし、感動で涙する素晴らしい一時でした。このような素晴らしいプログラムを作るために担当のロータリアンと奨学生の苦勞の準備があったことは言うまでもありません。来年度の地区大会プログラムにぜひ奨学生の声、意見を聞くプログラムをとり入れてください。

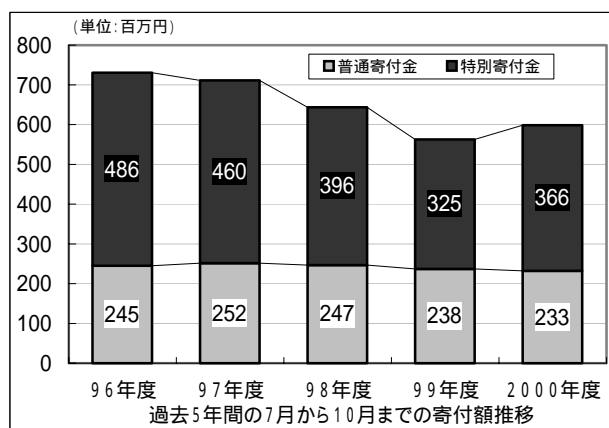
## 2. 米山月間の寄付速報

10月は米山月間でした。各地区・クラブでいろいろな催しを企画し、PRに努められたと思いますが、その成果はどうだったのでしょうか？ 結果をお知らせします。

### 10月までの寄付額

10月1カ月間の普通寄付金は4,454千円、特別寄付金は175,930千円、計180,384千円でした。

2000年度始めから10月までの普通寄付金累計232,868千円、特別寄付金累計366,063千円、合計598,931千円でした。右は、過去5年間の7月から10月までの



寄付額推移をグラフ化したものです。皆様のご努力の結果、明るい兆しを感じられますが、目標を高くもち、今世紀最後の寄付増進にご協力ください。毎年、11月と12月の寄付額は、その年度全体寄付額の約30%にあたります。この2カ月間が、寄付金収入目標達成において、最も大切な時期なのです。当会としては、11月に2億円、12月に3億円の寄付を目標としています。

#### 達成クラブ

2000年度始めから10月までに、新たに”達成クラブ”となったクラブをご紹介します。

<1>1億円達成クラブ 京都南RC(2650地区)

<2>8千万円達成クラブ 東京南RC(2750地区)

大阪南RC(2660地区)

(達成クラブ：クラブの普通寄付金と特別寄付金の合計した累計額が1千万円に達する毎に、達成クラブとなります。年度末の集計で”達成クラブ”となったクラブへは、感謝状が贈られます。)

寄付 Welcome News(みみより情報)

<1000万円寄付者(累計)>

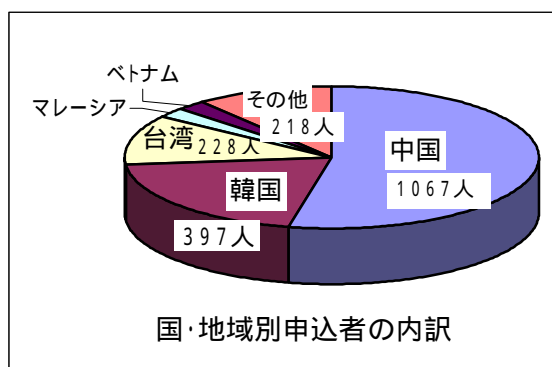
個人の寄付累計額が1000万円に達した方は、かつて2名いらっしゃいましたが、10月に3人目が誕生しました。

大阪イブニングRC(2660地区)松浦純男さんは、10月13日1000万円を寄付され、寄付累計額が1020万円となりました。感謝!

### 3. 2001学年度奨学金申込者は、2000人です。

10月1日から7日まで2001学年度の奨学生募集を行いました。全体では、289の大学・キャンパスを経由して2000人の申し込みがありました。

2000人の国・地域別内訳は、中国が最も多く1067人で、53%を占めます。2位が韓国の397人(20%)、3位が台湾の228人(11%)、以下マレーシア、ベトナムと続きます。全体では、41カ国・地域の留学生の申し込みがありました。これは、現在の日本における留学生事情を反映したものとといえるでしょう。



また、課程別では、学部生211人(10%)、大学院生1789人(90%)[うち修士課程1024人、博士課程765人]でした。

この2000人の中から、各地区の選考試験を経て、594人が奨学生として採用されます。2001学年度奨学生数は、この594人に、継続支給者331人、その他の奨学生75人(CY奨学生40人、SY-1奨学生15人、SY-A奨学生10人、SY-S奨学生10人)を加え1000人の予定です。

以上